



タコのすみとイカのすみは、どちらが多いの

イカとタコは、似ているようだけどちがう

イカもタコも、同じ仲間で、足もたくさんあるし、似ているように思えます。でも、足の数も、イカは10本、タコは8本とちがいますし、イカは泳ぐのが得意ですが、タコは、はい回って動きます。すみの性質もちがうのです。

イカのすみは広がらず、タコのすみはえん幕になる

イカのすみは、とてもねばりっ気が強く、水中にはき出されても、水に簡単にとけて広がりにません。はき出されたまま、ほぼ、すみのかたまりの形で水中をただよいます。敵は、このすみのかたまりに注意をそらされ、そのすきに、イカはにげだせるというわけです。

タコのはき出すすみは、イカのものとちがって、ねばりっ気が少なく、水によくとけて、ぱあっと広がります。そのため、えん幕のようになってタコの姿をかくすので、敵からのがれます。しかも、このすみの中には、タコのいちばんの敵である、ウツボのきゅう覚を感じなくさせるはたらきがあるため、つごうのよい武器になります。しかし、たくさんのすみをはくと、タコは弱ってしまうようです。また、深海にすむタコは、すみを体内にためておくふくろがなく、すみをはきません。

どっちのすみが多いか

広がりやすいタコのすみは、少量でも役に立つようです。ねばりっ気が強いイカのすみは、少量なら使っても意味がありません。そんなわけで、体の大きさが同じくらいのイカとタコを比べると、イカのほうがすみの量は多そうです。でも、きちんと調べた記録は見つかりませんでした。(監修・安部 義孝)

